



## 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月13日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ  
コード番号 3032 URL <https://www.golfdo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名  
TEL 048- 851- 3111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,905	1.8	1		2		28	
2024年3月期中間期	2,854	12.0	33		70		88	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 25百万円 ( %) 2024年3月期中間期 63百万円 ( %)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	11.29	
2024年3月期中間期	35.50	

2024年3月期中間期及び2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2025年3月期中間期	3,541		768		20.7
2024年3月期	3,373		801		22.9

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 734百万円 2024年3月期 772百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		5.00	5.00
2025年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	12.6	50		40		20		7.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	2,605,642 株	2024年3月期	2,605,642 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	99,200 株	2024年3月期	99,200 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	2,506,442 株	2024年3月期中間期	2,506,442 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
3. 補足情報 .....	11
売上高前年対比等 .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、高水準が続く円安を背景とした輸出や毎月過去最高となる訪日外国人観光客によるインバウンド消費に支えられ、再成長への歩みを進めております。また、デフレからインフレへの移行が進むとともに、金融政策は正常化に向かいつつあり、経済環境が大きく変わろうとしております。海外においては、緊張が拡大する中東、底堅い経済状況が続くとともに大統領選挙を控える米国、経済の停滞が続く中国など、各国において先行き不透明な状況が続いております。

リユース市場においては、物価上昇に対して割安な中古品を購入、環境問題に対する再利用等時代に適応した消費に加えて、ブランド品やアニメグッズ等への訪日外国人需要、輸出や越境販売による海外需要、製造業等による自社製品の2次流通の増加等により、市場の拡大は続いているものと推測されます。

ゴルフ用品市場においては、海外における日本人プロの優勝や活躍によって、話題面の盛り上がりはあったものの、夏場が全国的に過去最高気温またはそれに匹敵する高温となったことに加えて台風や大雨もあり、非常に厳しい気候であったことから、小売り店等は相応の影響を受けているところも少なくないものと推測されます。なお、株式会社矢野経済研究所「Y P Sゴルフデータ」によりますと、2024年7月～9月の新品クラブ及びボール等用品類のカテゴリー合計前年同月比(販売数量ベース・金額ベース)は、7月93.6%・102.3%、8月96.1%・102.8%、9月97.1%・93.0%となっております。数量ベースはシューズを除き3ヶ月続けて前年同月を下回っております。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、2024年7月～9月の利用者数前年同月比(ゴルフ場・練習場)\*は、7月93.9%・91.7%、8月95.0%・95.2%、9月100.3%・99.2%となりました。他レジャーとの競争や猛暑によるプレー意欲の低下も影響しているものと推測されます。\*9月は速報値です。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、「EC戦略の強化」のひとつの区切りとして、7月4日に「ゴルフドゥ!オンラインショップ」をリニューアルオープンいたしました。このリニューアルによって、スピード、操作性、安定性等が向上し、快適性が増しております。更には9月26日に新機能である下取り機能を活用した新サービス「買替え割」がスタートいたしました。販売はもちろんのこと、買取りの増加が強く期待されます。なお、今後は2025年3月までにポイント機能やセール機能の向上に加えて、「ゴルフドゥ!」店舗と「ゴルフドゥ!オンラインショップ」の会員統合を進めてまいります。「『ゴルフドゥ!』店舗の収益構造改革」では、ゴルフスクール「ゴルフドゥ!STUDIO レッスン&フィッティング」が軌道に乗りつつあり、加えてインストラクター育成プログラムも完成し、今後の業績貢献への期待が益々大きなものとなっております。費用面においては、前中間連結会計期間と比較し大きく上回っているものとして、パートタイマーの時給改定と不足する社員に代わる人員増加による雑給並びにECサイトの維持や売上高の増大に伴う支払手数料、保守料及び消耗品費があげられます。支払手数料はクレジットカードや「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」、「メルカリShops」の手数料増加によるもの、保守料はECサイトの機能向上や拡大に関するもの、消耗品費は主にECサイトの送付用段ボール箱の増加によるものです。

直営事業においては、猛暑、台風、大雨といった天候や他レジャーとの競争により、「ゴルフドゥ!」直営店は決して恵まれた外部環境にはありませんでしたが、5月、6月は2ヶ月連続で月間売上高の記録を更新し、7～9月は非常に苦しみながらも規模の拡大が進むEC系販売の上乗せもあり、その月の過去最高売上高となりました。なお、当中間連結会計期間の同店の売上高前年増減率(当社子会社の運営店舗を含まず)は、全店ベースで6.6%増、既存店ベースで6.4%増となりました。

フランチャイズ事業においては、「ゴルフドゥ!」フランチャイズ店の店舗数減少に伴うロイヤリティの減少が続いております。また、大半の店舗は直営店と比べて在庫量が少ないことから、売上高におけるEC系販売の上乗せは総じて限定的なものとなりました。なお、当中間連結会計期間の同店の売上高前年増減率(当社子会社の運営店舗を含む)は、全店ベースで4.2%減、既存店ベースで1.7%増となりました。

当中間連結会計期間における「ゴルフドゥ!」の新規オープンは無く、2024年9月30日現在の「ゴルフドゥ!」は、直営24店舗、フランチャイズ46店舗(当社子会社の運営店舗を含む)、合計70店舗、チェーン合計の売上高前年増減率は、全店ベース0.8%増、既存店ベース4.0%増となりました。

営業販売事業においては、米国の物価高と為替の円安基調による輸入品のコスト高が続いたことから、魅力ある商品と入荷数量が限られましたが、卸販売に商品投入を優先した結果、当中間連結会計期間の卸販売の売上高及び利益は前年同期を上回りました。しかしながら、国内ECモールに出店する「GOLF J-WINGS」は、商品展開に課題が残る厳しい状況が続きました。また、米国子会社は、米国内向け小売りへの注力を続けております。

アパレル事業においては、7月が客数減少により厳しかったものの、8月、9月は猛暑に対して夏物の値下げ品が効果を発揮し、売上高は前年同月を上回りました。しかしながら、値下げ品販売に伴う粗利益率低下等により、当中間連結会計期間は黒字を維持することはできませんでした。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は売上高29億5百万円(前中間連結会計期間は売上高28億54百万円)、営業利益1百万円(前中間連結会計期間は営業損失33百万円)、経常利益2百万円(前中間連結会計期間は経常損失70百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失28百万円(前中間連結会計期間は親会社株主に帰属する中間純損失88百万円)となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(直営事業)

当中間連結会計期間における直営事業の売上高は22億96百万円(前年同期売上高は21億41百万円)、セグメント利益は1億54百万円(前年同期セグメント利益は1億5百万円)となりました。

(フランチャイズ事業)

当中間連結会計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は2億2百万円(前年同期売上高は2億39百万円)、セグメント利益は24百万円(前年同期セグメント利益は20百万円)となりました。

(営業販売事業)

当中間連結会計期間における営業販売事業の売上高は4億68百万円(前年同期売上高は4億90百万円)、セグメント利益は9百万円(前年同期セグメント利益は8百万円)となりました。

(アパレル事業)

当中間連結会計期間におけるアパレル事業の売上高は22百万円(前年同期売上高は25百万円)、セグメント損失は0百万円(前年同期セグメント利益は0百万円)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は27億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億46百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1億76百万円増加、商品が31百万円増加、売掛金が39百万円減少したことによるものであります。固定資産は8億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が56百万円増加、繰延税金資産が31百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、35億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億68百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は17億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円増加いたしました。これは主に買掛金が1億35百万円減少、短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は10億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、27億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は7億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が40百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は20.7%(前連結会計年度末は22.9%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年8月13日付で公表いたしました内容(詳細は同日付公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。)に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	671,090	847,528
売掛金	305,048	265,866
商品	1,519,392	1,551,054
短期貸付金	3,600	3,600
未収還付法人税等	16,031	358
その他	56,419	49,310
貸倒引当金	△3,914	△3,914
流動資産合計	2,567,667	2,713,804
固定資産		
有形固定資産	302,878	286,716
無形固定資産	216,277	272,522
投資その他の資産		
投資有価証券	40,704	58,240
長期貸付金	34,283	32,483
敷金及び保証金	172,350	172,287
繰延税金資産	46,594	15,067
その他	28,956	24,963
貸倒引当金	△36,451	△34,651
投資その他の資産合計	286,437	268,390
固定資産合計	805,594	827,629
資産合計	3,373,261	3,541,433
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	438,493	303,337
短期借入金	670,000	870,000
1年内返済予定の長期借入金	211,188	249,800
未払法人税等	1,138	12,591
賞与引当金	20,614	19,128
ポイント引当金	34,150	19,947
株主優待引当金	15,356	17,844
その他	278,484	224,847
流動負債合計	1,669,426	1,717,497
固定負債		
長期借入金	606,472	751,673
退職給付に係る負債	166,905	173,508
資産除去債務	86,986	87,327
その他	41,800	43,193
固定負債合計	902,164	1,055,702
負債合計	2,571,591	2,773,199

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,838	515,838
資本剰余金	169,240	169,240
利益剰余金	76,659	35,821
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	663,530	622,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,476	30,124
為替換算調整勘定	90,201	81,320
その他の包括利益累計額合計	108,678	111,444
新株予約権	29,461	34,097
純資産合計	801,670	768,234
負債純資産合計	3,373,261	3,541,433

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,854,979	2,905,435
売上原価	1,780,535	1,793,056
売上総利益	1,074,443	1,112,379
販売費及び一般管理費	1,107,537	1,111,025
営業利益又は営業損失(△)	△33,093	1,354
営業外収益		
受取利息及び配当金	764	1,824
受取手数料	2,994	2,800
為替差益	478	58
貸倒引当金戻入額	—	1,800
その他	2,460	1,631
営業外収益合計	6,698	8,113
営業外費用		
支払利息	5,257	6,493
貸倒引当金繰入額	38,314	—
その他	698	380
営業外費用合計	44,269	6,874
経常利益又は経常損失(△)	△70,665	2,593
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間 純損失(△)	△70,665	2,593
法人税、住民税及び事業税	4,503	5,448
法人税等調整額	13,807	25,450
法人税等合計	18,311	30,899
中間純損失(△)	△88,976	△28,305
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△88,976	△28,305



## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△88,976	△28,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,970	11,647
為替換算調整勘定	18,190	△8,881
その他の包括利益合計	25,161	2,766
中間包括利益	△63,815	△25,539
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△63,815	△25,539
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△70,665	2,593
減価償却費	69,763	51,744
のれん償却額	3,483	2,949
長期前払費用償却額	725	825
株式報酬費用	—	4,627
貸倒引当金の増減額(△は減少)	42,224	△1,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,851	△1,447
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△120	△14,203
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△843	2,487
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12	6,602
受取利息及び受取配当金	△764	△1,824
支払利息	5,257	6,493
売上債権の増減額(△は増加)	21,593	36,921
棚卸資産の増減額(△は増加)	154,059	△36,558
仕入債務の増減額(△は減少)	△114,535	△132,837
未払金の増減額(△は減少)	7,344	△9,147
未払費用の増減額(△は減少)	10,054	△3,777
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,996	△17,452
その他	13,994	23,046
小計	150,704	△80,754
利息及び配当金の受取額	764	1,824
利息の支払額	△5,130	△7,156
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△69,839	14,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	76,498	△72,058
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,451	△44,893
無形固定資産の取得による支出	△24,514	△85,497
貸付金の回収による収入	647	1,800
敷金及び保証金の回収による収入	159	7,426
敷金及び保証金の差入による支出	△4,330	△54
建設協力金の回収による収入	3,975	2,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,514	△118,853
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△130,000	200,000
長期借入れによる収入	460,000	540,000
長期借入金の返済による支出	△280,703	△356,187
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△24,671	△12,478
その他	△515	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,110	371,337
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,441	△3,988
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	69,535	176,437
現金及び現金同等物の期首残高	655,352	671,090
現金及び現金同等物の中間期末残高	724,888	847,528

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,141,450	233,187	455,213	25,128	2,854,979	—	2,854,979
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	6,367	34,920	—	41,288	△41,288	—
計	2,141,450	239,554	490,133	25,128	2,896,267	△41,288	2,854,979
セグメント利益 又は損失(△)	105,165	20,270	8,635	321	134,394	△167,487	△33,093

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,296,634	195,016	390,908	22,876	2,905,435	—	2,905,435
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	7,357	77,794	—	85,152	△85,152	—
計	2,296,634	202,374	468,703	22,876	2,990,588	△85,152	2,905,435
セグメント利益 又は損失(△)	154,214	24,294	9,684	△874	187,318	△185,964	1,354

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 売上高前年対比等

当中間連結会計期間における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2024年7月	2024年8月	2024年9月	第2四半期 (7月～9月)	中間期 (4月～9月)
ゴルフドゥ！全店	96.4%	103.7%	99.9%	99.8%	100.8%
ゴルフドゥ！既存店	99.6%	106.1%	102.9%	102.7%	104.0%
同 直営店 全店	101.5%	111.4%	105.6%	105.9%	106.6%
同 直営店 既存店	101.5%	110.5%	105.6%	105.6%	106.4%
同 FC店 全店	91.9%	97.2%	94.9%	94.6%	95.8%
同 FC店 既存店	97.9%	102.3%	100.4%	100.1%	101.7%

(注) FC店には当社子会社の運営店舗が含まれております。

当中間連結会計期間におけるEC系の売上高前年対比、セッション数前年対比、会員数(合計)、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2024年7月	2024年8月	2024年9月	第2四半期 (7月～9月)	中間期 (4月～9月)
売上高前年対比	122.3%	128.5%	112.2%	120.4%	127.5%
セッション数前年対比	129.4%	143.3%	133.3%	135.2%	148.2%
会員数(合計)					442千人
会員数前年増加率					7.2%

(注) 1. 売上高前年対比及びセッション数前年対比は、前中間連結会計期間におけるEC系(「ゴルフドゥ！オンラインショップ」及び「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」)の実績合計と、当中間連結会計期間におけるEC系(「ゴルフドゥ！オンラインショップ」、「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」及び「メルカリShops」)の実績合計との対比です。

2. 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員数とは異なります。